

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度		昭和46年以前		根拠法令・例規等			
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」		問合せ先	担当課(室)	社会福祉課	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち			職・氏名	課長補佐 春森 弘晃	
	小項目	施策	20	障がいのある人への福祉の充実			電話	64-1824	
事務事業名		14		市民ふれあい福祉まつり事業		このシート作成に要した時間		1.5 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	市内外を問わず、誰でも		
目的(何のために)	障がい者や高齢者を含む誰もが社会参加できる福祉のまちづくりを推進する。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民ふれあい福祉まつりに参加した人たちが一日楽しく過ごせるイベントにするとともに、障がい者の方々の社会参加の推進に寄与したい。		

事業の実績		Do	
細事業名	事業の説明	優先度	
市民ふれあい福祉まつり事業	岡山県福祉のまちづくり条例により高齢者や障がい者を含む誰もが参加できる福祉の松づくりを推進するため、啓発ポスター・標語の募集、表彰。金婚該当者の表彰。老人福祉・障がい者福祉功労者等の表彰。また、模擬店、バザー等を開催する。	◎	
目的を達成するため実施した事業			

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	450	450	430
	必要人員	人	0.12人	0.22人	0.43人
財源	事業費	千円	1,222	1,995	3,662
	費用計		1,672	2,445	4,092
国	県	千円			
	支	千円			
受	益	千円			
	者	千円			
一	般	千円			
	財	千円			
受		千円	1,672	2,445	4,092
益		千円			
者		千円			
負		千円			
担		千円			
比		千円			
率		%	-	-	-
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	ふれあい福祉まつり参加人数	人	2,200	2,200	2,200
	結果指標量	人	2,200	2,200	2,200
	対前年比	%	100.0%	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	1,672,000	2,445,000	4,092,000
単位当たりコスト	円	760	1,111	1,860	

事業の成果		平成25年度事業				
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	
市民ふれあい福祉まつりの参加者数	目標値(A)	2350	2350	2350	2350	
	実績値(B)	2200	2200	2200	到達目標値	
	達成率(B/A)	93.62%	93.62%	93.62%	2350	
成果指標設定の考え方・式や説明						
市民ふれあい福祉まつりの参加者を増やしていきたい。						

事務事業の評価		Check	
事務事業の評価	該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください>		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input checked="" type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高 低い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高 低い
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高 低い
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	C

進行年度(H26年度)の改革改善内容		拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
状況			○					
説明	昨年同様、こども応援フェスタと同日開催を予定しており、経費の削減を図るとともに、相乗効果による多くの来場者を見込んでいる。							

総合評価		C	
昨年同様、こども応援フェスタと同日開催を予定しており、経費の削減を図るとともに、相乗効果による多くの来場者を見込んでいる。		総合評価 ABCDE 高や普や低い や通や低い 高 低い	

平成27年度の方向性・取組目標		Action	
方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了	○	
取組目標	現状維持で進めていきたいが、今後事業内容を見直ししながら、最小の経費で最大の効果が得られるよう実施していく。		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する際に留意する